

【準特選】

いじりやいじめ

西部中学校 二年生の作品

いじりやいじめはだめだと思いました。

僕は生まれたときから体が小さかったです。

みんなはいじりやいじめについてどうおもいますか？いじりやいじめにはその人が嫌いだから仲間外しをしたり、反応が面白いからいじったりなど理不尽な理由でいじりやいじめが起こっています。そのようないじりやいじめが起こるのは、だめだと思うし、止めていかないといけないと思いました。だから僕はだめだと思います。僕は身長のことなど容姿についてよく言われてきました。僕は身長について気にしていたので言われてとても傷つきました。今思えば、これは人権問題だと思います。なぜなら、僕の家系の遺伝子を尊重していないからです。その体験から僕は

しかし、それは遺伝子なので仕方がないことだと思っていました。そして、小学三年生のとき僕は「チビ」といじられ始めました。僕は、「チビ」と言われたときとてもきつかったです。とても苦しかったです。でも、そのきついや苦しいという気持ちを相手に伝えることができませんでした。その気持ちを伝えるのはとても勇気がいることだと思います。もし、そのきつかった、苦しかったという気持ちを伝えたらその友達から嫌われたり、仲間外しをされたりされるかとも思い、怖くて自分には本当の気持ちを言う勇気などありませんでした。その気持ちを伝えることが今になってもできないので今でも「チビ」といじられています。自分は、小さく生まれたくて生まれたわけではないのに、

悪いことなんて一つもしていないのにどうしてこんなに「チビ」と言われたいいけないんだらうと思いました。

僕は気持ちを伝えるというのはとても重要なことだと思います。自分以外にもいじられている人や、いじめにあっている人はたくさんいると思います。そのような人たちが、友達やクラスメイトに本当の気持ちを伝えることができる人は少ないと思います。だから、自分は周りの人の協力が必要だと思います。いじられている人やいじめにあっている人をみたとき、みてみぬふりをするのではなく、「それはだめだと思う。」としっかり言えるような人や先生などに「こういじりやいじめがありました。」とすぐに言えるような友達やクラスメイトがいたらいじりやいじめは少なくなると思います。今、自分たちのクラスではいじめはないけど、いじりがとてもあります。そのいじりで嫌な思い

をした友達もいました。いじっている人は、ただただ楽しから、面白いから、いじめじゃないから大丈夫と思っていても、いじっている人はなんでそんなに言われたいいけないの、悪いことなんて一つもしていないのになどと思っている人がたくさんいると思います。このようなことから、いじっている人はいじられている人の気持ちを考えることが大切だと思います。

自分が嫌な経験をしたからこそ、これ以上いじりやいじめをふやしたくないし、そのいじりやいじめを少しでも減らせていけたらいいなと思いました。そのために、自分は友達を絶対にいじらない、嫌なことがあったら、「嫌だった。」といういじりや、いじめが起「っていたらその場で止める、先生にすぐに「いじりや、いじめがありました。」など自分にできることをしていきたいなと思います。クラスでも、

いじりをやめさせるような雰囲気作りをしていきたいなと思います。一人一人が、みんなの気持ちを考えて行動したり、言葉遣いに気をつけたりして、まずはクラスでのいじりを少なくして、みんなが心地よく過ごせるようなクラスにしていきたいです。そして、学年、学校にいじりもただという雰囲気を作っていけるようにしたいです。半年後くらいには、自分たちが学校を引っ張っていかないといけないので、みんなのお手本になるような行動をして、みんなに尊敬されるような、先輩になりたいです。みんなが笑顔になるような行動をたくさんしていきたいです。